商品名　シルデナフィル錠50mgVI「キッセイ」 医薬品基本情報

薬効	2590 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	一般名	シルデナフィルクエン酸塩錠
英名	Sildenafil VI KISSEI	剤型	錠
薬価	0.00	規格	50mg 1錠
メーカー	キッセイ薬品	毒劇区分	

シルデナフィル錠50mgVI「キッセイ」の効能・効果

勃起不全

シルデナフィル錠50mgVI「キッセイ」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、硝酸剤投与中、一酸化窒素＜NO＞供与剤投与中、性行為が不適当又はその恐れ・疑い、心血管系障害、重度肝機能障害、安静時収縮期血圧＞170mmHg、治療による管理がなされていない高血圧、低血圧［血圧＜90／50mmHg］、安静時拡張期血圧＞100mmHg、心筋梗塞の既往歴が最近6ヵ月以内、脳梗塞の既往歴が最近6ヵ月以内、脳出血の既往歴が最近6ヵ月以内、網膜色素変性症、アミオダロン塩酸塩＜経口剤＞投与中、可溶性グアニル酸シクラーゼ＜sGC＞刺激剤投与中、肝硬変

記載場所	使用上の注意
注意レベル	禁止

2. 重度腎障害、Ccr＜30mL／min、肝機能障害＜重度肝機能障害を除く＞

記載場所	使用上の注意
注意レベル	慎重投与

3. 心筋梗塞の既往歴が最近6ヵ月以前、脳梗塞の既往歴が最近6ヵ月以前、脳出血の既往歴が最近6ヵ月以前、Peyronie病、陰茎屈曲、陰茎構造上欠陥、陰茎線維化、多発性骨髄腫、白血病、鎌状赤血球性貧血、持続勃起症の素因となり得る疾患、勃起不全治療薬投与中、PDE5阻害薬投与中、消化性潰瘍、出血性疾患、Shy－Drager症候群、多系統萎縮症、高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙、NAIONの危険因子を有していた、冠動脈障害、心血管系のリスクファクターを有している

記載場所	使用上の注意
注意レベル	注意

シルデナフィル錠50mgVI「キッセイ」の副作用等

1. 血管拡張、ほてり、潮紅

記載場所	その他の副作用

2. 心筋梗塞、低血圧、失神、勃起延長、持続勃起、尿路感染、前立腺疾患、鼻出血、気道感染症、副鼻腔炎、霧視、視力低下、網膜出血、網膜静脈閉塞、突発性難聴、過敏性反応、感染症

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明

3. 胸痛、動悸、頻脈、頭痛、めまい、傾眠、昏迷、AST増加、悪心、胃腸障害、口渇、消化不良、腹痛、鼻炎、関節痛、筋肉痛、発疹、眼充血、結膜炎、彩視症、視覚障害、CK増加、疼痛、熱感

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

4. 高血圧、不整脈、不完全右脚ブロック、末梢性浮腫、異常感覚、下肢痙攣、記憶力低下、興奮、緊張亢進、錯乱、思考異常、神経炎、神経過敏、神経症、不安、不眠症、無気力、ALT増加、LAP上昇、LDH増加、血中トリグリセリド増加、γ－GTP増加、血清リン脂質上昇、血中アミラーゼ増加、血中アルブミン減少、血中ビリルビン増加、総蛋白減少、おくび、胃炎、胃不快感、下痢、口唇乾燥、舌障害、白舌、腹部膨満、便秘、嘔吐、嚥下障害、陰茎痛、射精障害、朝立ちの延長、半勃起持続、呼吸障害、鼻閉、咽頭炎、喘息、骨痛、背部痛、皮膚そう痒症、眼瞼そう痒症、脱毛症、男性型多毛症、発汗、皮膚乾燥、皮膚障害、紅斑、ヘマトクリット減少、ヘマトクリット増加、ヘモグロビン減少、リンパ球減少症、リンパ球増加症、好酸球増加症、赤血球減少症、赤血球増加症、白血球増加症、眼乾燥、眼痛、屈折障害、光視症、味覚異常、味覚消失、流涙異常、羞明、BUN増加、インフルエンザ症候群、リンパ節症、血中ナトリウム減少、血中リン増加、体重増加、血中尿酸増加、ウロビリノーゲン陽性、尿中ブドウ糖陽性、尿中赤血球陽性、尿中蛋白陽性、疲労、無力症

記載場所	その他の副作用
頻度	0.1%未満

5. 死亡、心筋梗塞、重篤な心血管系等の有害事象、4時間以上の勃起延長、持続勃起＜6時間以上持続する痛みを伴う勃起＞、低血圧増悪、視力低下、視力喪失、非動脈炎性前部虚血性視神経症、NAION、痙攣発作、心原性突然死、心室性不整脈、脳出血、一過性脳虚血発作、高血圧、重篤な心血管系障害、精神・神経系発作、不安、勃起延長、持続勃起、血尿、複視、一時的視力喪失、一時的視力低下、眼充血、眼灼熱感、眼球腫脹、眼球圧迫感、眼圧上昇、網膜血管障害、網膜血管出血、硝子体剥離、硝子体牽引、黄斑周囲浮腫、腸間膜動脈炎、特発性若年性多発性動脈炎

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

シルデナフィル錠50mgVI「キッセイ」の相互作用

1. 薬剤名等 ： 硝酸剤

発現事象	降圧作用が増強し過度に血圧を下降	投与条件	-
理由・原因	-	指示	禁止

2. 薬剤名等 ： 一酸化窒素供与剤

発現事象	降圧作用が増強し過度に血圧を下降	投与条件	-
理由・原因	-	指示	禁止

3. 薬剤名等 ： 硝酸剤

発現事象	降圧作用を増強	投与条件	-
理由・原因	NOはcGMPの産生を刺激し、一方、本剤はcGMPの分解を抑制することから、両剤の併用によりcGMPの増大を介するNOの降圧作用が増強	指示	禁止

4. 薬剤名等 ： NO供与剤

発現事象	降圧作用を増強	投与条件	-
理由・原因	NOはcGMPの産生を刺激し、一方、本剤はcGMPの分解を抑制することから、両剤の併用によりcGMPの増大を介するNOの降圧作用が増強	指示	禁止

5. 薬剤名等 ： アミオダロン塩酸塩

発現事象	QTc延長作用が増強	投与条件	-
理由・原因	類薬とアミオダロン塩酸塩の併用により、QTc延長があらわれる	指示	禁止

6. 薬剤名等 ： sGC刺激剤

発現事象	症候性低血圧	投与条件	-
理由・原因	リオシグアト投与によりcGMP濃度が増加し、一方、本剤はcGMPの分解を抑制することから、両剤の併用によりcGMPの細胞内濃度が増大し、全身血圧に相加的な影響を及ぼす	指示	禁止

7. 薬剤名等 ： チトクロームP450 3A4阻害薬

発現事象	本剤の血漿中濃度が上昇、本剤の最高血漿中濃度＜Cmax＞の増加、本剤の血漿中濃度－時間曲線下面積＜AUC＞の増加	投与条件	-
理由・原因	代謝酵素阻害薬によるクリアランスの減少	指示	慎重投与

8. 薬剤名等 ： α遮断剤

発現事象	降圧作用が増強、めまい等の自覚症状を伴う血圧低下	投与条件	-
理由・原因	本剤は血管拡張作用による降圧作用を有する	指示	慎重投与

9. 薬剤名等 ： PDE5阻害薬投与中

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

10. 薬剤名等 ： 勃起不全治療薬投与中

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

11. 薬剤名等 ： チトクロームP450 3A4誘導薬

発現事象	本剤の血漿中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	代謝酵素誘導によるクリアランスの増加	指示	注意

12. 薬剤名等 ： 降圧剤

発現事象	降圧作用を増強	投与条件	-
理由・原因	本剤は血管拡張作用による降圧作用を有する	指示	注意

13. 薬剤名等 ： カルペリチド

発現事象	降圧作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤は血管拡張作用による降圧作用を有する	指示	注意

14. 薬剤名等 ： 喫煙等

発現事象	視力低下、NAION、視力喪失、非動脈炎性前部虚血性視神経症	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量
医薬品データベースの決定版 『 DIR 』
Drug Intelligence Reinforce

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.